

教員についての基本情報

教員名	中尾 達馬 准教授 (Tatsuma Nakao)
担当分野	発達心理学
研究分野	発達心理学
担当授業	児童心理学, 幼児理解, 道德教育の理論と実践 B, 子どもの世界・学びの世界, 子ども教育開発演習 I II, 卒業研究 I II, など
授業についての一言	楽しく知的世界で遊んで頂ければ, と思います。



研究の内容

アタッチメント理論をベースとしながら, 主に, 人の生涯における社会情緒的発達を研究しています。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

「幼児期に動物を飼うことによる心の発達と保育」「義理人情についての研究」「アタッチメントと道德性の発達」「ママ友についての研究」「シャイな人は婚期が遅れるのか?」「褒めについての発達心理学的研究」「児童期におけるアタッチメントと甘え」「文化多様性についての心理学的研究」「感動体験と部活動継続に関する心理学的研究」「被養育経験と収入」「“親の成長”に関する心理学的研究」「自由保育の良さに関する実証的研究」「沖縄県における Imaginary Companion の実態」「思春期・青年期における異性不安に関する実証的研究」「大学生はテスト勉強をしているのか」「大学生における化粧行動の発達に関する心理学的研究」「青年期においてひとりで過ごすことは悪いことなのか」「エゴ・レジリエンスは, 大学生活を豊かなものにしてくれるのか?」

研究のキーワード

アタッチメント, 児童期, 非社会性, 社会的ひきこもり, ニート, など

研究室の様子

研究室のモットーは「研究は厳しく, 人間関係はあたたかく」です。4年間の集大成である卒業研究については, 学士号に見合ったレベルが求められるため, ゼミ生は, ときに失敗をしたり, つまずいたり, 混乱をしたりすることがあります。しかし, それはあくまで研究上のことであって, 研究室一同, 人間関係は常にあたたかくあるよう努めています。